

## 2000年のトラストレイン 運転日

4月22日(第4土曜日)・5月27日(第4土曜日)  
6月24日(第4土曜日)・7月15日(第3土曜日)  
8月26日(第4土曜日)・9月30日(第5土曜日)  
10月21日(第3土曜日)・11月25日(第4土曜日)

### 10月2日の運転状況

ボランティア参加者	11名
(初参加)	0名
乗客数 下り	108名
上り	110名
売上	35,500円
募金	24,865円

C12復活後2回目の運転は2両増結の5両編成でした。NHKとSBSの取材があり、みな緊張気味でした。

この日取材された内容は、10月15日朝のNHKニュースの中で紹介されました。久保田氏のインタビューが全国放送で流れました。

### 11月27日の運転状況

ボランティア参加者	30名
(初参加)	1名
乗客数 下り	153名
上り	174名
売上	16,000円
募金	23,077円

ボランティア参加者がイベント以外で30名も集まったのはここ数年ではなかったことでした。人数が多かったので運転前の清掃では、ふだんなかなかできなかった窓拭きを実施しました。

今年最後の運転は紅葉の行楽シーズンとあって2両増結の5両編成でした。今回は上りも満席で、募金も上りとしては記録的な17,794円集まりました。上りの運転は年に一度のスチーム暖房も入って暖かい車内でした。

### 11月28日の補修作業

今年の運転も終了したので、恒例の補修作業を翌日の11月28日に家山で行ないました。ボランティア参加者は18名。

客車3両のワックス掛け、スハフの塗装補修等を行ないました。

# 11月27日の様子



窓拭きをする運転前の清掃状況



プレートを磨くボランティア



崎平駅手前の大井川を渡るラストトレイン

募金ありがとうございます。上り車内にて

# Wanted SL前照灯の電球

白井昭

SL保存の各鉄道とも部品や過熱油など資材の入手に苦労しているが、現在大井川鉄道ではSL前照灯の球に困っている。

どこも作ってくれないのである。シールドビームにすればよいが、それでは歴史保存にならないし、値打ちがないので正統な前照灯を残したい。

その電球は32V、150Wの特種なベースなもので、全国各線SLではどうしているか、どこか作っている所はないか、共同発注できないかお尋ねしたい。

前照灯がつかなければSLは走れません。

32Vという電圧は今もアメリカに多く、何千両というニューヨークの地下鉄の制御回路は今も32Vである。アメリカ生まれの日本のED53、EF51も32Vでした。

これは電源がバッテリーフロートのため生まれたもので、一方日本の客車は24Vと異なっていた。客車は石川の発電機からとも考えられるが、戦前日本のSLと客車は所管が違っていた。

今は山口線など客車の電源は

DGによるACが多くなっているが、大井川線は今でも蒸気をもとに車軸発電機を回し、バッテリーと併用して点灯する原点を守っている、つまり火力発電なのである。このため終点につくと早々に電灯を消してしまうこれも昔のままである。

SLの32Vのルーツは知らないが、昭和始めSLにタービンを付け始めた時の川崎造船のタービンがなぜ32Vなのか、C52のアメリカ製に原点があるのかなど知りたい所である。



SLの前照灯



家庭用40W電球と前照灯の電球



## 会報

今年度の総括と現状

会報は5回発行

はがきによるインフォメーション5回

今後の見通し

財団発行の「報」が順調に発行されるようになったので、インフォメーション的なものはそちらに掲載する。

できれば、鉄道サークルの会報の発行回数を減らす方向でいきたい。

年6回発行することに決定。

ウェブ上で見られる人は会報を送送しなくてもいいようにもっていく。

## 見学会

候補地

横川( JR東日本の旧型客車を何気なくチェックしに行くのも目的の一つ)

今年はまず、ここだけは必ず決行する。

立山砂防鉄道

SL磐越物語with新津工場見学

天竜浜名湖鉄道沿線

## 勉強会

トラストレインの補修勉強会

客車の外板、内装の塗装

大鉄技術サービスの方にレクチャーしていただきながら行う

客車内床材の補修

乗客から見えない所で修行を積む。

シートモケットの補修

全面は素人では無理。部分継ぎ接ぎ技術をマスターする。

## 各地区の鉄道サークル

関西地区

独立して活動してもらおう

活動費を別途徴収してもらおう

インフォメーション等も自ら担う

内容によっては財団の「報」や鉄道サークル会報、関西支部ボランティア通信にも掲載する。

中京・東海地区

今のところ活動休止中

## ヨ5000の補修

業者に発注し修復する

どの段階までやるか?屋根のみか、外板もふくめてか。

屋根のみ修復する

募金を引き続き行う

目標額は25万( 現在15万5千円 )

## トラストレイン全般

車内配布用パンフ

今までののをそのまま使用する。

表面は今までのものを流用し、裏面は大々的に変更する。

今のところ、SL磐越物語のパンフレットをパクリの予定。渡辺一男がサンプルを作成。

紙の質を変える。

スポンサーが付けばオールカラー版にする。

シンプルに作り直す。

\* 財団の入会案内とともに配布するのであれば、財団法人日本ナショナルトラストの説明はいらないのでは?

財団のパンフレットは数に限りがあるので配布はできないとのこと。したがって、ある程度の説明は必須。

## 車内掲示物

各客車妻面の掲示

各客車の、往時の活躍場面を写真にて紹介する。

吊り広告部分の掲示

テレホンカードの宣伝や、禁煙のお願いではなく、ここも各客車の往時を偲ばせる写真を掲載。

## 車内販売品

テレホンカード

去年の桜のテレホンカード( 残数 104枚 )

新規のテレホンカードを作成するのか

昨年決めたとおり、テーマ「夏」で作成するのか

\* ただし、乗客には沿線風景を含めた絵柄より、トラストレインそのものをクローズアップした絵柄の方が好評。( おとしの米山さん撮影のテレホンカードの在庫を聞かれることが多かった )

テレホンカードは、季節感のあるものではなく、お決まり形式写真( 正面がちに、斜めから列車だけを大きく捉えた構図 )で行くことに決定。

鉄道サークル会報で募集する。





# いんぷおめいしょん

## S L 保存ボランティア ( 3月25日 )

### SL保存ボランティアの日程

9:15 集合 新金谷駅待合室

- ・ミーティング ( 役割分担・分担箇所の準備・各責任者 )
- ・各参加者がボランティアを行う場所に、用具等を準備する。  
S L 班 ウェス、ピカール等  
客車班 雑巾、ほうき、ちりとり等。また、予めバケツに水を汲んでおく。

9:40 受付開始 ( 一般参加者 )

10:00 プラザロコへ移動

- ・行程、ボランティア作業等の説明。

10:20 各班ごとに作業現場に移動し、ボランティア作業を行う

- \* 各ボランティア作業の指導は鉄道サークルのメンバーの代表者が行う。
- \* 他のメンバーは車内販売の準備、車内掲示板等の取り付けを行う。

11:50 作業終了

12:00 昼食 ( 一般参加者もトラストトレイン車内で昼食可能 )

12:45 S L 列車トラストトレインに乗車

14:07 千頭駅到着。一般参加者は以後自由行動

- \* 鉄道サークルのメンバーは、通常のトラストトレインボランティア通り。

15:30 千頭駅出発

16:45 金谷駅到着

- \* ドア扱いボランティア以外は新金谷で下車。待合室でドア扱いボランティアを待ってミーティング後、解散。